



消防団年末夜警

12月28日、29日の2日間、午後9時から午前0時までの間、弥富市消防団年末夜警が実施されました。

この活動は、各分団車庫などに年末夜警詰所を設営し、各分団員で管轄地域のパトロールを行うもので、火災が発生しやすい気候を迎えるにあたり、防災意識の高揚を図り、火災を未然に防止することを目的として行われました。

市民の生命、財産を守るために多くの消防団員が活躍していました。



整列する消防団員

市ホームページ内フォトギャラリーや公式ツイッターでもまちの話題を紹介しています!



NPO法人海部南部権利擁護センター開所記念式典



NPO法人海部南部権利擁護センターの看板を披露する3市町村長

NPO法人海部南部権利擁護センター開所式

1月11日、十四山スポーツセンターにて、「NPO法人海部南部権利擁護センター開所記念式典」が行われました。

NPO法人海部南部権利擁護センターとは、認知症高齢者、知的障がい者や精神障がい者など、判断能力が十分でない方々の人権や財産などを守るお手伝いをするため、弥富市、蟹江町、飛島村の3市町村が協力して立ち上げたセンターです。

式典後には、NPO法人尾張北部権利擁護支援センター長の山中さんより記念講演会が行われました。

弥富金魚初市

1月13日、東海観賞魚卸売市場にて、弥富金魚初市が行われました。

今年は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底された中で行われましたが、「カンコ」と呼ばれる木枠の中に入った色鮮やかな金魚が威勢のいい掛け声とともに次々に競り落とされていきました。

この日最高値は、体長20センチ以上のアズマニシキが1匹7万円で競り落とされ、この市場の過去最高値となりました。



威勢のいい掛け声で競り落とっていく業者の皆さん

令和2年度弥富市人権啓発活動活性化事業

国(法務省)委託事業「人権擁護委員地域人権啓発活動活性化事業」を弥富市人権擁護委員が取り組み1月12日から30日までの間、市役所1階の市民プラザにて、事業の報告を展示しました。

各活動はコロナ禍のためマスク着用、消毒の徹底など安心、安全を心掛け規模縮小となりましたが、桜小学校の協力を得て「人権の花運動」、タレントで書家の矢野きよ実氏を講師に招いての「人権啓発講演会」、市内巡回啓発と共に南部保育所、大藤保育所、栄南保育所へ啓発物品を配布する「人権巡回啓発活動」を行いました。活動を通して広く人権について周知することができました。



ちょっと一息“防災” 防災クイズに挑戦してみませんか?

問題 大地震が発生した時に備えて、家族がバラバラになることを想定してどのようなことを決めておけば良いでしょうか?

- ① 携帯電話で連絡が出来るので特に決めてなくてもいい。
- ② 家族で災害が起きた時の集合場所を決めておく。
- ③ 家族が行きそうなところを探す。

答えはP11の下をご覧ください。

やとみ 歴史探訪

このコーナーでは、弥富市のまだまだ知られざる歴史について、弥富ふるさとガイドボランティアが紹介していきます。

内藤十左衛門自刃地碑

五明の證玄寺の門前に「宝暦治水美濃義士内藤十左衛門自刃之地」と書かれた石碑があります。

内藤十左衛門は宝暦4(1754)年の宝暦治水の時に、木曾三川の水行奉行をしていた西高木家に雇用され工事の現場監督を務めました。

尾張国の工事は順調に進みましたが伊勢国の工事は遅れたといひます。十左衛門はそれを目撃者に指摘されて高木家に迷惑がかかる事を恐れ、五明の彦八の家で自害したといわれています。昭和55年に岐阜県東濃町(現瑞穂市)の教育委員会によってこの碑が建てられました。



大地震が発生した場合は、携帯電話が使える場合は限り「お互いの安全が確認出来るようにする」ために、災害時の集合場所を決めておきましょう。